

第2回『坪野哲久文学奨励賞』作品募集

～小・中学生、高校生のみなさんの短歌、俳句、詩を募集します～

【応募期間】

7月13日(月)～9月11日(金)

【趣旨】 短歌・俳句・詩など、文学の創作活動を通じ、自然や人、生活、社会などを凝視し、深い読解力を養うことを目的とする。

【主催】 坪野哲久文学記念館

【共催】 志賀町・志賀町教育委員会

【協力】 志賀歌会・志賀町俳壇協会・志賀町図書館協議会

【応募資格】 町内の小中学生および町内在住または在学の高校生

【部門および応募点数】

- 短歌の部 一人三首まで
- 俳句の部 一人三句まで
- 詩の部 一人三作品まで

【テーマ】 テーマは自由。日常の中での喜び、感動、悲しみ、怒りなど、あなたが感じた心の風景を表現してみてください。

【応募規定】 本人が作った未発表の作品に限ります。(校内・グループ内発表可) 俳句では17音の中に「季語」を一つだけ入れてください。詩については、一作品400字詰原稿用紙2枚以内とさせていただきます。



【坪野哲久文学碑】
高浜町 千鳥ヶ浜休憩所

坪野哲久文学賞担当まで
☎ 32-9350

志賀町末吉千古1-1
志賀町教育委員会生涯学習課

【応募・お問い合わせ先】

〒925-0198
公共施設で展示予定
坪野哲久文学記念館および

【展示】 坪野哲久文学記念館および公共施設で展示予定です。

【表彰】 表彰方法については、各部門入賞者および学校宛てに通知します。

【賞】 各部門優秀作品には賞状と副賞を授与します。

【応募方法】 小中学生は担任の先生を通じて応募してください。高校生は、氏名、年齢、郵便番号、住所、自宅電話番号、学校名、学年を明記の上、直接応募先まで持参または郵送してください。

【お問い合わせ】
志賀町教育委員会
生涯学習課
☎ 32-9350
町内IP 8-32-9350

石川県民体育大会開催

〔27競技、534人が参加〕

8月8日(土)、9日(日)を中心に、珠洲市を主会場として、第61回石川県民体育大会夏季大会が開催されます。

志賀町からは、27競技、67チーム、534名からなる選手団が参加し、勝利を目指して、県内各市町のチームと1点を、また0.1秒を争う熱い戦いを繰り広げます。選手の皆さん優勝目指して頑張ってください。

また町内でも、綱引き競技が9日(日)午前10時から、志賀町総合体育館を会場に行われます。皆さんのご声援をよろしくお願いします。

◆お問い合わせ先

志賀町体育協会事務局

(スポーツ振興室内)

☎ 32-9350

町内IP 8-32-9350



【昨大会の様様】
(ソフトボール競技)

★志賀クリーン運動★ 千鳥ヶ浜海岸清掃を実施

志賀クリーン運動「千鳥ヶ浜海岸清掃」が7月12日(日) 早朝6時から約1時間にわたり実施されました。

当日は、天候が心配されましたが梅雨の晴れ間に、高浜地区と中甘田地区の子どもから大人まで約千人の人達が海岸清掃に参加されました。

約1時間の作業でしたが、皆さんのローラー作戦により7台の収集車では積みきれないほどのゴミが集まり、高浜新港から大島諸願堂までの約1.9キロの区間は見る見るうちにきれいになりました。

毎年行われている「千鳥ヶ浜海岸清掃」ですが、この清掃が契機となり、「自然を愛し、美しいまちをつくる」という思いが、町じゅうに広がってほしいと思います。参加いただいた皆さん本当にありがとうございます。

また、高浜・中甘田地区の区長さんをはじめ、関係各位の皆さんには多大なるご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。



【海岸清掃に汗を流す参加者の皆さん】

はまなす句会

弓形に浜瘦せにけり土用波

坂下 草風

手織機の音なつかしく上布織る

土田エミ子

夏座敷長押しに古き釘隠し

淵端 三之

昼寝する足をかじりて猫の行く

裏田 弘美

人情の温もりうれし花菖蒲

細川ふじ子

亡き友の思いで深き梅雨の月

中田 淑子

富来俳壇

能登富士や時にはおんな夏の霧

川田まさを

四阿の屋根の上なる梅雨菌

前川美代子

梅雨出水逆波浴ぶる橋に佇つ

浅野 照子

思ひ出や縁で腰掛け朴葉飯

安井ふさの

蝸牛カメラ目線に角ふりぬ

下野 久雄

鉄砲百合遊女の墓の傾ぎをり

須下ひろし

志賀歌会

輸血の文字脳から消えず病室に入り来る夕陽に両の手透かす

向永いみ子

背戸の藪雉の親子が一行に歩む姿を愛でし眺むる

東 操

カラカラと風車鳴く山畑の竹のほ先に胡瓜のうぶ毛よ

田端 正敏

中にあん外は黄粉と孫達のリクエストありおはぎ丸める

坂井外志子

※作者の娘詠みて返す歌一首

車中にて我も我もと手をのぼし

田舎みやげのおはぎほおぼる

何もせず何も思はず呆として

冷めた紅茶を吾は飲み干す

浦野タツ子

貝がら川柳社

熟練の包丁を手に腕くらべ

坂下二三子

友が来る産地のネタで腕により

西尾 善春

年だもの背骨まげての寺参り

須管 正子

子育ては骨身にしみる親の愛

村中 光彦

町名の消えて古里遠くなり

須下ひろし

西浦川柳会

宅急便旅の土産と噂乗せ

窪 洋

少子化に協力したくも生めぬ歳

池田 洋子

望まれて産まれた筈がホームレス

岩井マサ子

知恵絞り会費安くて喜ばれ

高島 和子

この会費どんな会かかと妻が聞く

中畑 良則

上達も出来ぬ会費が笑ってる

小松 康子

俳句・川柳

短冊に内緒で書いた願い事

浅子

短歌

あたらしく海に向かいて墓碑が建つ

手向けし花は朝露に濡れ

松本理希三

そくさい会たなばた祭の願い事

智子

死ぬ迄元気でありますように

雨上がり空を仰ぎて朱く咲く

ノウゼンカズラ色鮮やかに

志津江

四十なか山の手入れに余念なし

道より眺む美林にせむと

みさの

志賀町の文化財紹介

【安部屋瓦専長寺獅子口】

(志賀町指定文化財)

種別 工芸品

場所 志賀町高浜町

指定年月日 昭和48年3月14日

瓦製。獅子口は鬼瓦と同じ場所、すなわち大棟、または降棟の端に使われる一種の棟飾です。江戸時代には、獅子口を使った棟を御所棟と呼び、一般には使用が許されていませんでした。この獅子口は神代専長寺の棟に使われていたもので、しかも、その作人が町村の武兵衛であることを知る貴重な資料です。



安部屋瓦専長寺獅子口

文芸教室 作品募集

「文芸教室」に掲載する作品を募集しています。紙面の制約がありますので、一般投稿の短歌、俳句、川柳については一首(一句)、詩については二百字以内として送付ください。

■送り先 / 〒925-0198

志賀町末吉千古1番地1

志賀町教育委員会生涯学習課

広報担当まで

※毎月8日までにお送りください。